



ダイバーシティ推進が

日本経済の未来を支える

－ ジェンダーの視点から －

元内閣府男女共同参画局長 池永肇恵氏をお招きし、経済、社会のさまざまな分野に関するデータからジェンダー平等の現状と課題、関連施策についてご紹介いただきます。日本の経済社会に潜むジェンダーバイアスに気づき、多様な個人を尊重し性別にかかわらず能力が発揮できる環境づくりに資する知識や視点を得ることを目的に、本学のダイバーシティ推進の意識啓発、および具体的な課題整理につなげていく機会としたいと思います。

2022年
12 / 7 水

16:30-18:00

対面・オンライン開催

(早稲田キャンパス内会場/Zoomウェビナー)

- Zoom（オンライン）、会場参加いずれも事前申込が必要です。
- 一般の方はオンラインの参加となります。本学学生、教職員は会場参加も可能ですが、定員を設けておりますので申込状況によってはオンライン参加をお願いする可能性があります。
- 感染状況によっては全面オンライン開催の可能性もあります。



講師 **池永 肇恵 氏**
IKENAGA Toshie

元内閣府男女共同参画局長
東京大学教養学部卒業。外資系銀行勤務を経て1987年経済企画庁入庁。2001年の省庁再編以降の内閣府で、日本の将来ビジョンの取りまとめや男女共同参画施策等に従事。その間、厚生労働省、一橋大学経済研究所、法政大学大学院政策創造研究科への出向を経験。滋賀県副知事、内閣府男女共同参画局長を務めた後、2020年8月退職。現在は、民間企業の社外役員、公益財団法人や独立行政法人の役員（非常勤）、早稲田大学教育学部及び法政大学大学院政策創造研究科で非常勤講師等を務めている。

講師からのメッセージ

日本はジェンダー平等後進国です。意思決定過程への女性割合は低く、男女の仕事と家庭の両立は困難な状況にあり、人権を踏みにじる暴力やハラスメントも根強く存在します。法制度も整備されてきましたが、働き方の問題や根強い固定観念が妨げとなっています。ジェンダー平等はダイバーシティの不可欠な要素です。ダイバーシティはイノベーションの源泉であり、その欠如は大きなリスクとなります。本講演が日本の経済社会にとってダイバーシティがいかに重要か再認識していただくきっかけとなれば幸いです。

開会挨拶：麻生 享志 早稲田大学ダイバーシティ推進担当理事、国際学術院教授

司会進行：弓削 尚子 早稲田大学ジェンダー研究所員、法学学術院教授

対 象

本学学生・教職員・一般の方

問い合わせ先

早稲田大学ダイバーシティ推進室
Mail : diversity@list.waseda.jp

事前申込 ▶▶▶

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/>
上記ウェブサイト内イベント掲載ページ
より事前にお申込みください。



【特別な配慮が必要な方へ】特別な配慮（PC文字通訳による情報保障など）を希望される方は、11月16日（水）までにdiversity@list.waseda.jpへご希望の内容をお知らせください。ご相談のうえ、できる限りの対応をさせていただきます。※文字通訳、手話通訳等の情報保障は、WSC（WASEDAサポーターズ倶楽部）メンバーズ基金により支えられています。

主催：早稲田大学ダイバーシティ推進室
後援：早稲田大学ジェンダー研究所 協力：慶應義塾協生環境推進室